

各県立学校長 様

保健体育課長
高等学校課長
特別支援教育課長

春休みにおける県立学校の部活動等の対応方針について（通知）

日頃は、学校における新型コロナウイルス感染症対策にご協力いただき、感謝申し上げます。

さて、3月16日現在、県内の新型コロナウイルスの感染状況は、依然高止まりの状況が続いており、今後も気を緩めることなく感染症対策を講じることが求められています。

このような状況の中、各学校の部活動等においては、今後、公式戦・発表会等への生徒の参加機会が増えてくることから、一定の対応方針が必要と考えております。

つきましては、春休みにおける県立学校の部活動等の対応方針を下記のとおりとしますので、教職員への周知をお願いします。

併せて、春休み中の学校行事や補習等の対応につきましても、下記に示すとおりとします。

記

〈部活動の対応〉

1 公式戦・発表会等（以下、大会）の参加について

大会の参加については慎重に判断すること。参加する場合は以下の点に留意すること。

- (1) 必要最小限の参加人数とすること。
- (2) 大会の前後2週間は、参加者の健康観察を徹底すること。
- (3) 大会直前や大会中に、部内で感染者や感染が疑われる者が出た場合は、顧問は速やかに校長及び大会主催者へ連絡を行い、大会出場に関する判断が出るまでは、大会への出場を控えること。
- (4) コロナ禍における大会参加については、別紙をもとに人権教育及び健康教育を行うこと。

2 県内外における練習試合等について

県内外における練習試合等については、禁止とする。（県外からの招聘も同様）

ただし、合同チームの活動については、感染状況を考慮したうえで、校長の判断により認める。

3 通常の部活動について

生徒・保護者の意向を確認し、その意思を尊重したうえで、1日2時間以内の活動を週休日等も含め週5日まで、校長の判断により認める。その際、以下の点を留意すること。

ただし、公式大会の2週間前からは、1日3時間以内の活動を週休日等も含め週5日まで、校長の判断により認める。

- (1) 部活動毎に活動日や活動時間の振り分け、活動人数を制限するなど、密を避けるための対策を講じること。なお、密を避ける対策が講じられない場合は、日数を減らすこと。
- (2) 昼食時間を挟まない活動時間の設定をすること。
- (3) 部活動前後の集団での飲食や部室等の共有エリアの一斉利用を控えるなど、部活動に付随する場面での対策を徹底すること。（※登下校中における飲食については、特に注意すること）

4 その他、部活動における注意場面

- (1) 日頃の健康観察や、活動場所の換気の徹底や密の回避、活動前後の手指消毒並びに使用した道具の消毒など、基本的な感染症対策を講じること。
- (2) 部室での更衣、準備や片付け、ミーティングの際は必ずマスクを着用すること。ただし、活動時も含め、マスクの着用が健康被害に繋がる場合は、感染症対策を講じたうえで、マスクを外すこと。

- (3) 現状の感染状況を鑑み、できる限り個人での活動とし、感染リスクが高い活動については、原則、実施しないこと。ただし、公式大会等に向け、接触などの感染リスクが高い活動を行う場合は、徹底した感染症対策を講じること。
- (4) 部内で感染者が確認された場合は、当該部活動の活動を直ちに中止する。なお、活動を中止する期間は、部内や他の部活動への感染拡大が無いことが確認されるまでとする。
- (5) 登下校中においてもマスクを着用するなど、十分な感染症対策を講じるよう生徒一人ひとりへ指導を行うこと。

5 教員等が従事しない場合における部活動について

春休み中の部活動においては、人事異動に伴い教員等が不在となる場合や職員会等に伴い教員等が従事できない時間もあり、感染を予防するためにも、以下の点に留意して活動を実施すること。

- (1) 教員等が部活動へ従事できない場合は、部活動は実施しないこと。
- (2) 教員等が不在の場合は休養日にするなど、活動計画を工夫すること。
- (3) 当該部活動の教員が人事異動等により不在となり活動ができない場合は、他の部活動の教員等が活動を見るなど、校内で協力して生徒の活動の保障に努めること。

<学校行事の対応>

校長の判断のもと、実施内容の見直しや規模の縮小、時間短縮など各校の実情を踏まえた感染防止対策を徹底したうえで実施すること。

<一斉補習の対応>

春休み中の補習等については、校長の判断のもと、感染症対策を講じた上で実施すること。その際、人数制限やオンラインの活用など学校の状況を踏まえた対応をすること。なお、部活動同様、昼食を挟まない時間設定とすること。

【担当】

保健体育課 田邊、池田、中内 (TEL:088-821-4900)
高等学校課 岩河、東岡 (TEL:088-821-4907)
特別支援教育課 濱口、吉井 (TEL:088-821-4741)

【分類番号 05-04-0009】

部活動に参加する生徒の皆さんへ（高校生用）

1 部活動の意義・意味

みなさんは、今所属している部活動で、何を目標にしていますか。個人種目であれば県記録、大会記録、自己ベストなど、団体であれば、優勝、ベスト4、四国大会出場、チームで1勝や日頃の練習の成果を発表する場など、様々な目標があり、練習に励んでいると思います。また、日々の練習では仲間と切磋琢磨し、悔しい思いもしながら、達成感や自分自身の成長を感じたことなど、振り返ると色んなシーンが蘇ってくるのではないのでしょうか。

みなさんが一生懸命取り組んでいる部活動は、練習や試合を通して、向上心や忍耐力などを高めるとともに、仲間との絆を高め、自分を大きく成長させ、将来の自分の生き方の基礎となるものを得ることができる貴重な活動といえます。



2 コロナ禍での活動

昨年から新型コロナウイルス感染症の影響により、私たちの生活は大きく変わってきています。人と接することが当たり前だったこれまでの生活から、人との身体的距離をとること、マスクの着用、大勢で集まらないこと、換気を行うことなど、いわゆる3密を避ける生活が普通の生活様式となりつつあります。

このような中、スポーツ活動や文化活動においても感染の広がりを防止するため、大会に参加する際には、2週間の体温測定・体調チェック、体調不良時は医療機関の受診、試合中以外はマスク着用、手指消毒などを行いながら、大会に参加しています。

これは、生徒の皆さんや大会関係者やそのご家族の「命と健康」を守るためのものです。

3 新型コロナウイルスとは

新型コロナウイルスは、自分は「うつっていない」と思っている、実はウイルスを持っていることもあります。感染してもはっきりとした症状が出ないことや、症状が軽いことがあり、このような人たちからも、ウイルスは感染します。そのため、熱などがなくても自分が持っているかもしれないウイルスを周りの人にうつさないために、手洗いやマスクをつけることを忘れずに行うことが大切です。



自分が感染する
だけじゃない

「人に感染させる可能性」は誰でも持っています。

4 大会等（県外遠征等を含む）に参加するために

大会等に参加する生徒の皆さんの体調不良などの状態に対して、①新型コロナウイルスへの感染が疑われる場合には早めに病院受診をすること、②病院での検査結果が大会等までに分からない場合には参加を控えるように定めています。これは、参加する生徒の皆さんを新型コロナウイルス感染症から守り、安心・安全な大会等にするためのものです。

自分と仲間の「命と健康を守るため」**「勇気ある行動」**をとろう！

(1) 体調不良になった場合

自分が感染源になり、多くの仲間に感染を広げないように、自分の好きなスポーツや文化活動からクラスター（集団感染）を発生させないように、一人ひとりが自分の体調管理に責任を持ち、少しでも体調に異変がある場合には早めに医療機関を受診するなど勇気ある行動をお願いします。

(2) 身近な人が感染し、自分が濃厚接触者となってしまう大会開催までに検査結果がわからない場合

同じ部活の仲間が濃厚接触者となり、検査結果が大会等までに判明しない場合は、チームとして参加を辞退することも出てきます。そうなった場合でも、その仲間を責めるのではなく、自分のこととして考えてください。

悪いのは新型コロナウイルス感染症という病気であり、一番辛い思いをしているのは、本人です。自分になりたくてなったわけでもありません。みんなに迷惑をかけて、チームが大会に出れなくなったことを申し訳なく思っていることでしょう。

チームとして参加できなくなる、練習の成果を発揮する場がなくなることはみなさんにとって非常に悔しい出来事になると思いますが、そのことで、仲間を責めるようなことは絶対にしないでください。そういった思いをしないためにも、チームのみんなで声をかけ合いながら感染を予防することを徹底していきましょう。

高校県体においても、大会開催2週間前から開催日までに、①家族に陽性者が確認され自分が濃厚接触者となった、②他の部の友達が陽性者となり、自分が濃厚接触者となった、③自分が陽性者となり、部内の他の部員が濃厚接触者となった事例が発生しています。この事例では、該当する部活動はチームや個人が大会参加を辞退してくれた結果、大会での感染拡大にはつながっていません。

部内で感染者や濃厚接触者が発生した場合には、参加を辞退しなければならないことがあることをみんなですっかりと話し合っておいてください。



誹謗中傷は誰のため
にもなりません。

感染は「いつでも・どこでも・誰にでも」起こること

新型コロナウイルスは、いつでも・どこでも・誰にでも感染する可能性があり、感染者が非難されるべきではありません。

「感染する人が悪い」という考えが広まれば、差別や偏見を恐れて医療機関への受診をためらい、命に関わる状態になってしまったり、周りにいる多くの人に感染させてしまうということにつながります。

新型コロナウイルスの感染が拡大する中、SNS上で感染者に対する誹謗中傷や心無い書き込み等が広がっています。

私たちが向き合う相手はウイルスです。そのことを今一度再認識して、一人ひとりが冷静な行動と、できる限りの予防を心掛けましょう。

